

日本工営株式会社  
2019年6月6日

## 『自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト』が決定しました ～今年度は都心部と島しょ部で自動運転プロジェクトを行います～

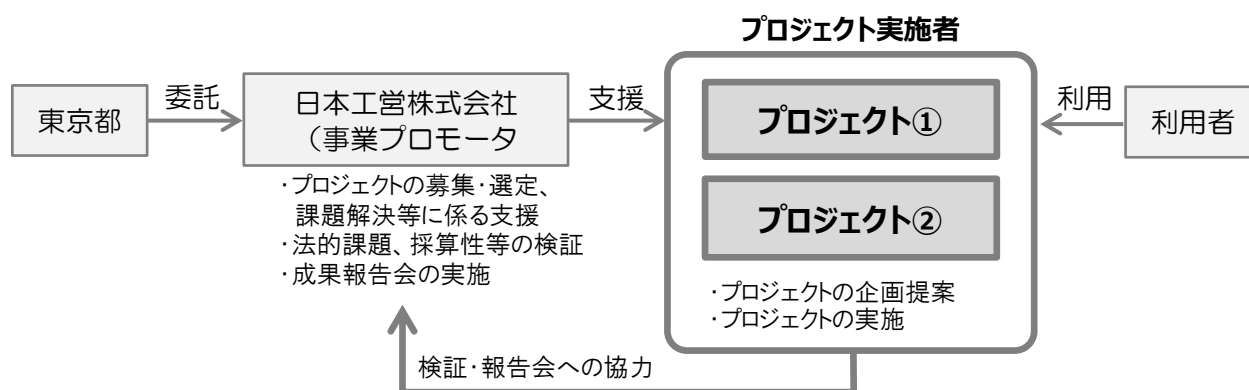
日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有元龍一、以下「日本工営」）は、東京都が自動運転技術の実用化を一層加速させるため2018年度から開始した、自動運転事業者や交通事業者などによる、自動運転技術とそれ以外の先進的なICT技術等を組み合わせたビジネスモデルプロジェクトの支援事業を受託しています。このたび、2019年度の支援プロジェクトを2件選定しました。

自動運転技術は、我が国の成長戦略として大きな意義を有するとともに、多くの社会的課題を解決できる可能性を持っています。日本工営は本ビジネスプロジェクトを通じて、東京都の抱える社会課題の解決及び新たなモビリティサービスやスマートシティ施策への発展を目指します。

### 1 事業の概要

事業プロモーターである日本工営は、自動運転技術とそれ以外の先進的なICT技術等を組み合わせ、MaaS<sup>\*1</sup>、コネクティッド<sup>\*2</sup>、シェアリングなどの検討に資するビジネスモデルプロジェクトを公募し、外部有識者等による審査により優れた取組を選定しました。今後、日本工営が事業プロモーターとして支援等を行いながら、プロジェクト実施者による各プロジェクトが都内で展開されます。各プロジェクトの実証実験は、それぞれ2週間程度実施される予定です。

<『自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト』事業スキーム図>



※プロジェクトの実施にあたっては、東京自動走行ワンストップセンターが手続面を支援。

### 2 選定結果

別紙のとおり（都心エリア1件、島しょエリア1件 合計2件）

### 3 その他

『自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト』の情報は、特設HPに掲載します（URL：<http://autonomouscar-tokyo.jp/>）

【※1】「MaaS マース：Mobility as a Service」は、複数の交通手段によるモビリティ（移動）をひとつのサービスとして捉え、ICT技術を活用してつなぐ新たな「移動」の概念である。利用者はスマートフォンのアプリを用いて、交通手段やルートを検索・利用し、運賃等の決済を行うなどの例がある。

【※2】「コネクティッド：connected」は、“接続”や“繋がる”という意味で、「コネクティッドカー」という場合、ICT端末としての機能を有する自動車を指し、車両の状態や周囲の道路状況などの様々なデータをセンサーにより取得し、ネットワークを介して集積・分析することで、新たな価値を生み出すことが期待されている。

—本件に関するお問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : [c-com@n-koei.co.jp](mailto:c-com@n-koei.co.jp) ホームページ : <http://www.n-koei.co.jp/>

# 選定プロジェクト一覧

## プロジェクト①

【テーマ】空港リムジンバスと連携した都心部での自動運転タクシーサービス

【プロジェクト実施者】日の丸交通株式会社/株式会社ZMP



画像提供：日の丸交通/ZMP

### 【プロジェクト概要】

空港リムジンバスの拠点と東京駅周辺を自動運転タクシーでつなぐ。MaaS(スマートフォン等で複数交通手段を一度に予約・決済)を活用した効率的な配車サービスを行い、インバウンド需要や職業ドライバー不足への対応を検証する。

### 【プロジェクトで使用する予定の新しいサービス】

スマートフォン等により、複数の交通手段を一括して予約・決済できるサービスの検証を行う。

### 【実験車両概要】

- ・ベース車両:トヨタ エスティマ ハイブリッド
- ・車線変更や右左折、停止等をすべてシステムが自動で操作(緊急時のみドライバーが介入)

### 【実施予定箇所】

- ・中央区～千代田区

## プロジェクト②

【テーマ】島しょ部観光MaaSの実現に向けた移動手段創出

【プロジェクト実施者】株式会社愛光観光/NTT東日本/NTTデータ/群馬大学



画像提供：群馬大学

### 【プロジェクト概要】

八丈島空港と既存交通(町営バス、タクシー)の間を自動運転バスで繋ぐことにより、来島観光者の移動手段の創出を目指す。

### 【プロジェクトで使用する予定の新しいサービス】

MaaSポータルサイトを作成し、来島観光者が島内の複数交通手段による観光ルート情報の検索・予約・決済を一度にできるサービスを提供し、ビジネスモデルとしての実現可能性を検証する。

### 【実験車両概要】

- ・ベース車両:EVバス「eCOM-10」
- ・予め設定した限定ルートにおいて、車線変更や右左折、停止等をすべてシステムが自動で操作(緊急時のみドライバーが介入)

### 【実施予定箇所】

- 八丈島空港～八丈島観光協会

《各事業者にお問い合わせを行いたい場合はこちらへ》

『自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト』

受付窓口(日本工営(株)コーポレートコミュニケーション室)

メール: c-com@n-koei.co.jp

電話: 03-5276-2454

**NIPPON KOEI**